

<暮らしの夢から“かたのサイズ”をめざす像までの流れ>

暮らしの夢

8. 第二京阪道路をいかした、にぎわいのある暮らし

高架下にプレーパークができた。雨の日でも遊べる。周りに家がないので、バンドの練習もOKということになった。ギターをもった人、太鼓をたたく人、トランペットを吹く人といろいろな人が集まってきた。その縁で、今度、市民音楽祭にユニットを結成して出演することになった。

(高校生)

私は、側道につくられたサイクリング道路を利用してサイクリングを楽しんでいる。子どもと一緒にサイクリングをしても安全なので気軽に楽しめる。

新しい道路を利用して車でレクリエーションに来る人も増えたので、そのような人をターゲットとした市やレストランなどのビジネスが興りつつある。休みの日に、家族で外食をする機会が増えた。

(30歳代男性)

わが家の北側上空の視界をさえぎる道路そのものには、何年経ってもなじめない。ただ、高架下の空間は、地域で活用するため、さまざまな利用方法を地域で検討し、実践している。

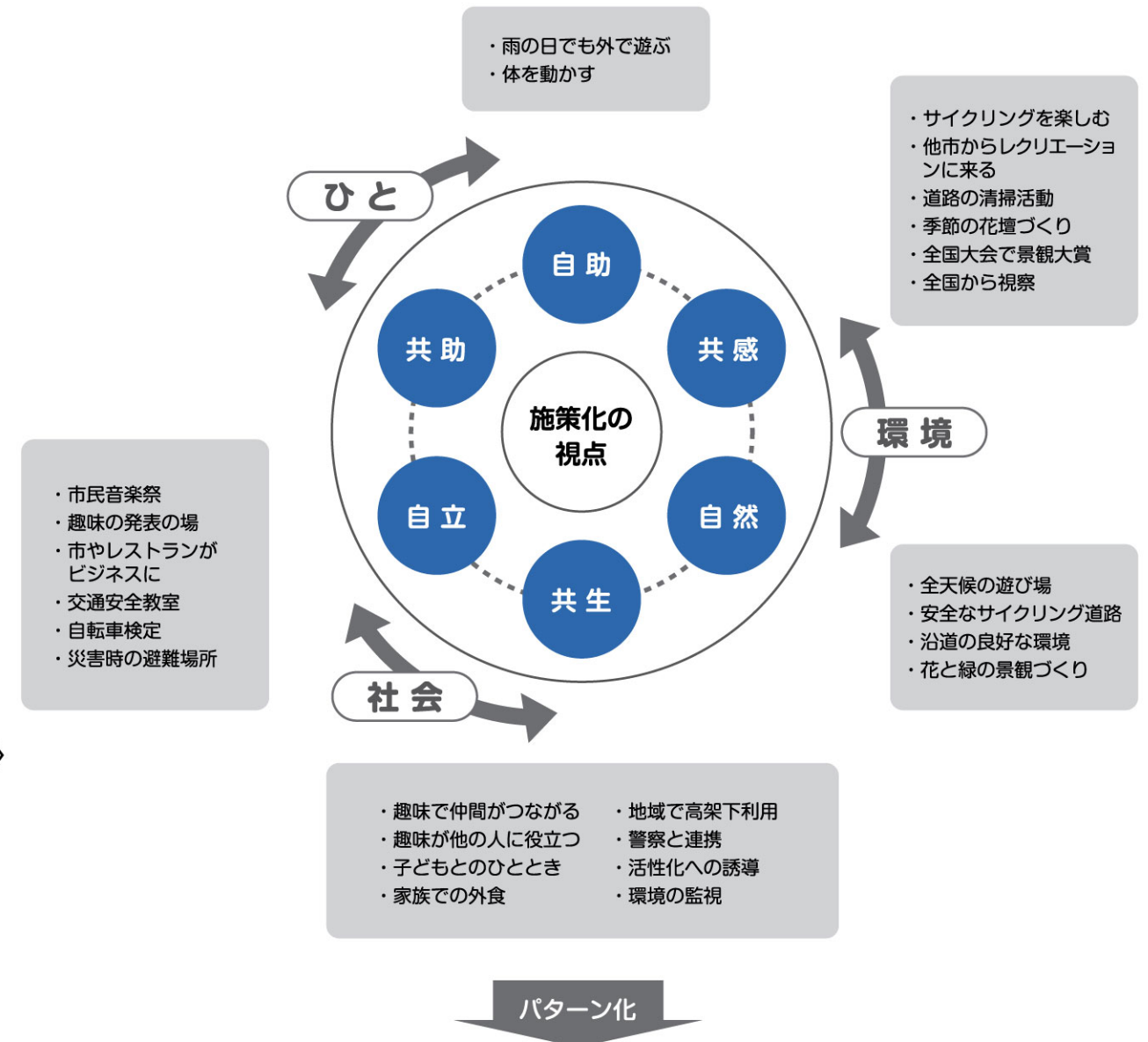
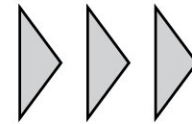
それがきっかけとなって、警察署と連携して、生活道路での安全性向上のため、交通安全教室を開いたり、「交野自転車の検定」を行ったりしている。

(中年男性)

私は、第二京阪道路沿道の環境を整備する事業に引続き取り組んでいる。沿道はアドプト制度で定期的な清掃活動や季節の花壇づくりを地域のみんなで実施している。

地域の公園や学校など他の資源にも目がむけられるようになり、学校などの公共施設や家の生垣を利用した花と緑の景観づくりにも取り組み、全国大会で受賞するまでになり、各地から第二京阪道路をつかって、視察に来てもらっている。

(50歳代女性)



パターン化

No.	“かたのサイズ”をめざす像
32	遠くから多くの人を訪れてきて、出会いや交流がある
42	案内や散策ルートが多彩で、気軽にまち歩きが楽しめる
57	第二京阪道路の空間が暮らしの憩いの場となっている
58	第二京阪道路の沿道がまちと調和した新しい景観となっている
59	まちなかの空き地や空き家をみんなでも有効に活用している
60	第二京阪道路によってまちが活性化して潤っている
61	交通が便利で、どこへでも気軽に出かけている
62	安心して歩くことができる環境がある
63	いろんなところで気軽に立ち話や道草が楽しめる
64	公害のない心地よく住める環境を守っている